

活動紹介

千葉県森林インストラクター会

活動分野	昆虫同好会（むしむしクラブ）		
タイトル	クモの勉強会		
実施日時	平成 30 年6月9日（土）10：00～14：00 晴れ		
実施場所	市川市 大町自然観察園		
受講者	名	F I C会員他スタッフ	9名：講師 1名

活動の内容

クマノミズキやツリフネソウが咲く大町自然観察園で、日本蜘蛛学会会員で東京蜘蛛談話会に所属されて、蜘蛛の研究をされている新井浩司さんをお招きし蜘蛛の勉強会をしました。クサグモが沢山の棚あみを張っています。ケヤキの樹皮に居るクモや円網の中に枯れ葉を吊って、その中に隠れているハツリグモなど普段歩いて通り過ぎてしまう所にたくさんのクモが隠れていました。隠れ帯も渦を巻いたような形のウズグモの仲間やコガタコガネグモ（幼体）のギザギザした帯もあります。キシノウエトタテグモの丸い扉の中からクモタケがよっきり顔を出しているものや、巣の中で菌糸に包まれてしまっているものもありました。ヨシなどのイネ科の葉をちまき状に巻いてその中で子を守るカバキコマチグモは、毒グモとしても名が知られていますが、孵化した子グモは親を食べて（体液を吸う）巣立っていく究極の母の愛のクモとしても有名です。また、クモを餌にしているニホンカナヘビの元気な姿も眼にしました。暑い一日でしたが不思議なクモの生活の一端を知る事が出来、有意義な勉強会となりました。



大町自然観察園

チュウガタコガネグモ：餌を捕獲

コガタコガネグモ幼体：かくれ帯



クモを食べるニホンカナヘビも元気！

クモタケ：キシノウエトタテグモ

菌糸に包まれたクモ

